すくーるLife No.9

学校法人ザイナスアカデミー（ZAC）
田北調理師専門学校教務部
令和４年５月１０日発行

新年度始まる

４月７日に行われた入学式も無事に終え、４月８日のオリエンテーションでは１年生、２年生の顔合わせが行われた。

その後、実習服の手順を先輩が後輩に指導。実習服をうまく着こなすのは難しそうだったが、２年生の丁寧な指導により、最近は上手に着替えることができるようになった。

１年生は新たな環境、新たな仲間と共に、２年生は先輩、そして就活生として１年がスタートした。１年後、どのように成長しているのか楽しみである。

顔合わせで２年生より
自己紹介をしている様子

親睦 cuisine

４月22日に行われた親睦cuisine。この「cuisine（キュイジーヌ）」とは料理や台所という意味があり、料理を通して親睦を深めてもらうのが今回の目的。

２年生はこのイベントを盛り上げようと事前に料理の試作をし、ゲームの内容を考え、製菓の学生は手作りプリンを用意。当日は２年生が１年生をフォローしながら調理し、午後はゲームで盛り上がった。魚介のトマトパスタとプリンのデザートプレートは味も見た目もばっちり。ゲームをする頃にはすっかり打ち解け楽しいイベントとなった。

校長コラム

５月１日付新聞の見出しに「採用選考にインターン情報。働く体験促進、就活過熱も」とあった。

インターンシップ（就業体験）で得た情報を、企業側が面接などの採用選考で活用できるということ。今も、実質的に選考の場となっているが、産学協議会で合意した。一方、就職活動（就活）の前倒しが過熱することも懸念。

いつからか「就活」なる言葉が生まれ、それに責任を持ち直接指導するのは教員だが、最近では就活をマーケットとする業界も存在するようになった。

細田一樹氏の著書から、2020年、始動した「教育改革」は、学習スタイルが大きく変化していくとのこと。端的に言えば、従来の「知識人の養成」から「職業人の育成」へと方向転換するそうだ。

専門学校においても、これからの社会を生き抜く能力、予想外の事態を乗り越える力、変化のスピードの速い社会で活躍できる人材の育成が求められていく。